

2024年度 環境経営レポート



認証番号0006105

(対象期間2024年1月～2024年12月)



発行日： 2025年4月1日
改訂日： 2025年6月20日

1. 事業活動の概要

1. 事業所名及び代表者氏名

株式会社 イノウエプラスチック
代表取締役社長 里井 雅典

2. 所在地

敷地面積
(㎡)

【本社・本社工場】兵庫県姫路市別所町家具町126番地の10 (認証登録範囲)	2,229
【第二工場】兵庫県姫路市別所町家具町33番地の2 (認証登録範囲)	902
【第三工場】兵庫県姫路市別所町家具町25番地 (認証登録範囲)	907
【西工場】兵庫県姫路市別所町家具町126番地の4 (認証登録範囲)	810
【東倉庫】兵庫県姫路市別所町家具町28番地 (認証登録範囲)	682.57
【東工場】兵庫県姫路市別所町家具町30番地 (認証登録範囲)	600



3. 事業内容(認証登録範囲)

工業用プラスチックの二次加工販売
・半導体洗浄装置の樹脂部門の加工
・局排ダクトの設計・製作・施工・メンテナンス
・精密機械加工(エンブラ加工)

4. 事業の規模(2024年度)

従業員数 85名
(本社事務所14名・本社工場27名、第二工場14名、第三工場26名、西工場4名)
年間売上高 20.5億円(2024年度)

5. 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者
総務部 高橋 憲之

環境事務局 担当者
営業部 川崎 めぐみ

連絡先 TEL: 079-253-7755
FAX: 079-253-7775
E-MAIL: inouep77@chive.ocn.ne.jp

6. 事業年度 : 1月~12月

7. 取り組み対象組織及び活動

組織: 本社、本社工場、第二工場、第三工場、西工場、東倉庫
対象外: なし

事業活動:

エンジニアリングプラスチックの精密機械加工・販売、
半導体洗浄装置の樹脂部門の加工、
局排ダクトの設計・製作・施工・メンテナンス

株式会社 イノウエプラスチック

環境経営方針

いま地球は、わたくしたち人類によって蝕まれ、人間に例えるならば、著しく健康を損なった重病人状態です。その症状は集中豪雨・干ばつ・異常高温・異常低温・土壌・地下水汚染など多岐にわたっています。

この症状を救えるのも、わたくしたち人類です。従来の大量消費・大量廃棄を反省し、地球にやさしい行動への転換が求められています。

弊社は石油など天然資源を原料とする各種プラスチックならびにゴム類の加工を事業としていることを踏まえ、「地球環境と新たな共存」を通じて社会へ貢献を目指し、以下に基づき環境保全活動に取り組みます。

(1) 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守いたします。

(2) 次の事項について環境経営目標・環境経営計画を定め、

環境経営の継続的改善に努めます。

①地球温暖化防止のため、電力および化石燃料の使用量削減に努め、二酸化炭素の排出量の削減を目指します。

②廃プラスチックなどの廃棄物の削減とその再資源化に努めます。

③水使用量の削減に努めます。

④環境に良い製品を提供します。

⑤地域での環境活動に積極的に参加します。

⑥環境に配慮した施工を推進いたします。

⑦加工・組立から現地据付まで一貫して請け負える体制を維持します。

(3) 環境経営方針は、教育の機会および社内掲示等で、当社内で働く全ての人々に周知します。

(4) この環境経営方針は、一般の人々に公開します。

制定日：2009年 9月15日

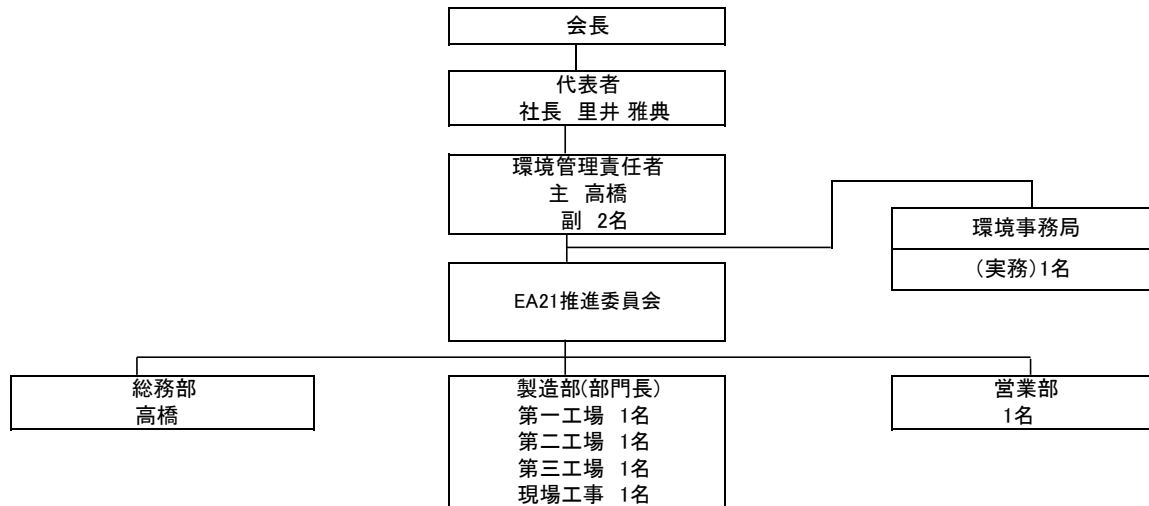
改定日：2021年 8月21日

代表取締役社長



3. 環境経営システム組織図と権限表

株式会社イノウエプラスチック 環境経営システム組織図



環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ票を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境経営の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
EA21推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 目標及び活動の立案・実行・評価を推進する責任を持つ。 部門ごとの環境経営目標の整合性確認 環境経営計画に対する進捗レビュー 環境関連の課題に関する部門間調整とフィードバック 必要に応じた是正措置や教育訓練の提言
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境経営の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 テスト、訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 環境経営目標

取組み事項	2021年度 (実績値) 基準値と単位	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
	目標	目標	目標	目標	目標	目標	
[1] 二酸化炭素排出量の削減	379,598kg-CO ₂	2%削減 372,006kg-CO ₂	3%削減 368,210kg-CO ₂	4%削減 364,414kg-CO ₂	5%削減 360,618kg-CO ₂	6%削減 356,822kg-CO ₂	
内 訳	①電気使用量の削減	664,911kWh ¥14,636,470	2%削減 651,613kWh ¥14,343,741	3%削減 644,964kWh ¥14,197,376	4%削減 638,315kWh ¥14,051,011	5%削減 631,665kWh ¥13,904,647	6%削減 625,016kWh ¥13,758,282
	②自動車燃料使用量の削減	ガソリン	2%削減 14,384L ¥2,577,545	3%削減 14,237L ¥2,500,219	4%削減 14,090L ¥2,474,443	5%削減 13,944L ¥2,448,668	6%削減 13,797L ¥2,422,892
		軽油	2%削減 22,653L ¥2,186,350	3%削減 22,200L ¥2,142,623	4%削減 21,973L ¥2,120,760	5%削減 21,520L ¥2,077,033	6%削減 21,293L ¥2,055,169
	[2] 廃棄物の削減	①一般廃棄物量 4,800kg(計算値)	1,290kg	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
②産業廃棄物の削減 208,700kg ¥2,155,341		2%削減 204,526kg ¥2,112,234	3%削減 202,439kg ¥2,090,681	4%削減 200,352kg ¥2,069,127	5%削減 198,265kg ¥2,047,574	6%削減 196,178kg ¥2,026,021	
[3] 水使用量の削減	年間水資源総使用量 1,058.0m ³ ¥176,424	2%削減 1,036.8m ³ ¥172,896	3%削減 1,026.3m ³ ¥171,131	4%削減 1,015.7m ³ ¥169,367	5%削減 1,005.1m ³ ¥167,603	6%削減 994.5m ³ ¥165,839	
[4] 環境に良い製品を提供する	鉛フリー素材の使用とPR	鉛フリー素材の使用とPR	鉛フリー素材の使用とPR	鉛フリー素材の使用とPR	鉛フリー素材の使用とPR	鉛フリー素材の使用とPR	
[5] 環境保全活動の取組み	周辺地域の清掃	周辺地域の清掃	周辺地域の清掃	周辺地域の清掃	周辺地域の清掃	周辺地域の清掃	
[6] 環境に配慮した施工	-	①現場で発生したゴミ・残材はバケツ等正しく廃棄する ②騒音に配慮した施工の徹底⇒ポータブル充電機 ③工事残材は出にくい施工方法の選択 ④工事残材の有効活用の実施	同左	同左	同左	同左	
[7] 加工・組立から現地据付まで一貫して請け負える体制を維持する。	-	-	100%イノウエプラスチックからの受注を請け負う協会の新規開拓により、自前で一環して請け負える体制を強化する。	同左	同左	同左	

※当社の事業年度は、1月～12月

注：電力の二酸化炭素排出係数は、*関西電力(株)公表の2021年度値0.362kg-CO₂/kWhの実排出係数を使用した。

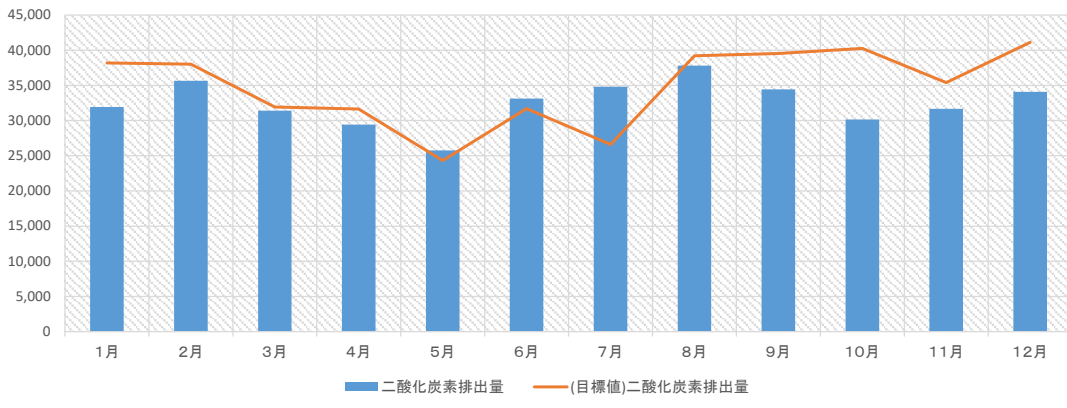
*リコージャパン(株)公表の2021年度実績の実排出係数0.484kg-CO₂/kWhを使用した。

注：「化学物質使用量の削減」の目標は、化学物質使用量が極少量であるため設定しない。

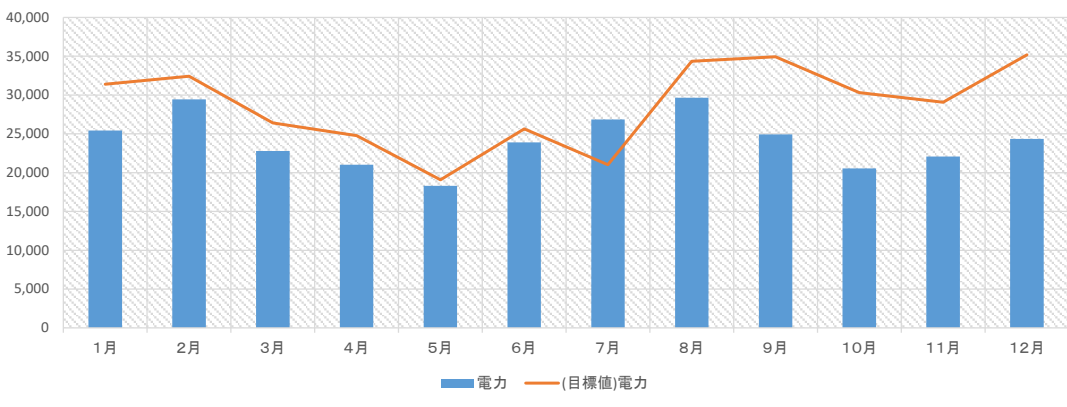
5. 環境経営計画

2024年度 環境目標	実施事項
[1] 二酸化炭素排出量の削減 2021年度比 3%削減	① 電気・ガソリン・軽油の使用量削減により排出量削減を図る ※省エネ工作機械導入と配送ルート最適化
① 電気使用量の削減 2021年度比 3%削減	① 電力不要時の負荷遮断 ② 空調機器の省エネ化 ③ 工作機械の省エネ化
② 自動車燃料の二酸化炭素排出量の削減 2021年度比 3%削減	① アイドリングストップ ② 営業車両に「エコドライブ実施中」の掲示
[2] 廃棄物の削減 ① 一般廃棄物量	① ペーパーレス化推進 ② 裏紙の利用 ③ ダンボール箱は可能な限りリサイクル・リユースにまわす
② 産業廃棄物量	① 歩留率の向上 ② PVC・PP・PC・PET・アクリは可能な限りリサイクルにまわす
[3] 水使用量の削減	① 節水シール等の表示と励行
[4] 環境により製品を提供する	安定剤に鉛が入っていない商品(鉛フリー商品)の使用とPR
[5] 地域での環境活動への積極的参加	① 従業員等への教育訓練の実施 ② 地域の清掃の継続 ③ 消費者等への情報提供や啓発活動の実施
[6] 環境に配慮した施工	① 現場で発生したゴミ・残材はバケツ等正しく廃棄する ② 騒音に配慮した施工の徹底⇒ポータブル充電機 ③ 工事残材が出にくい施工方法の選択 ④ 工事残材の有効活用の実施
[7] 加工・組立から現地据付まで一貫して請け負える体制を維持する	①100%イノウエプラスチックからの受注を請け負う協会の新規開拓により、自前で一環して請け負える体制を強化する。

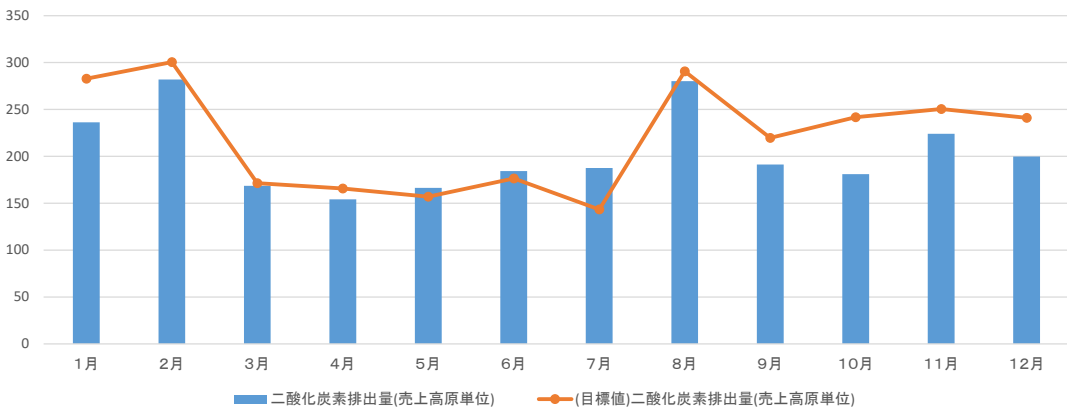
2024年度 二酸化炭素排出量(kg-CO₂)



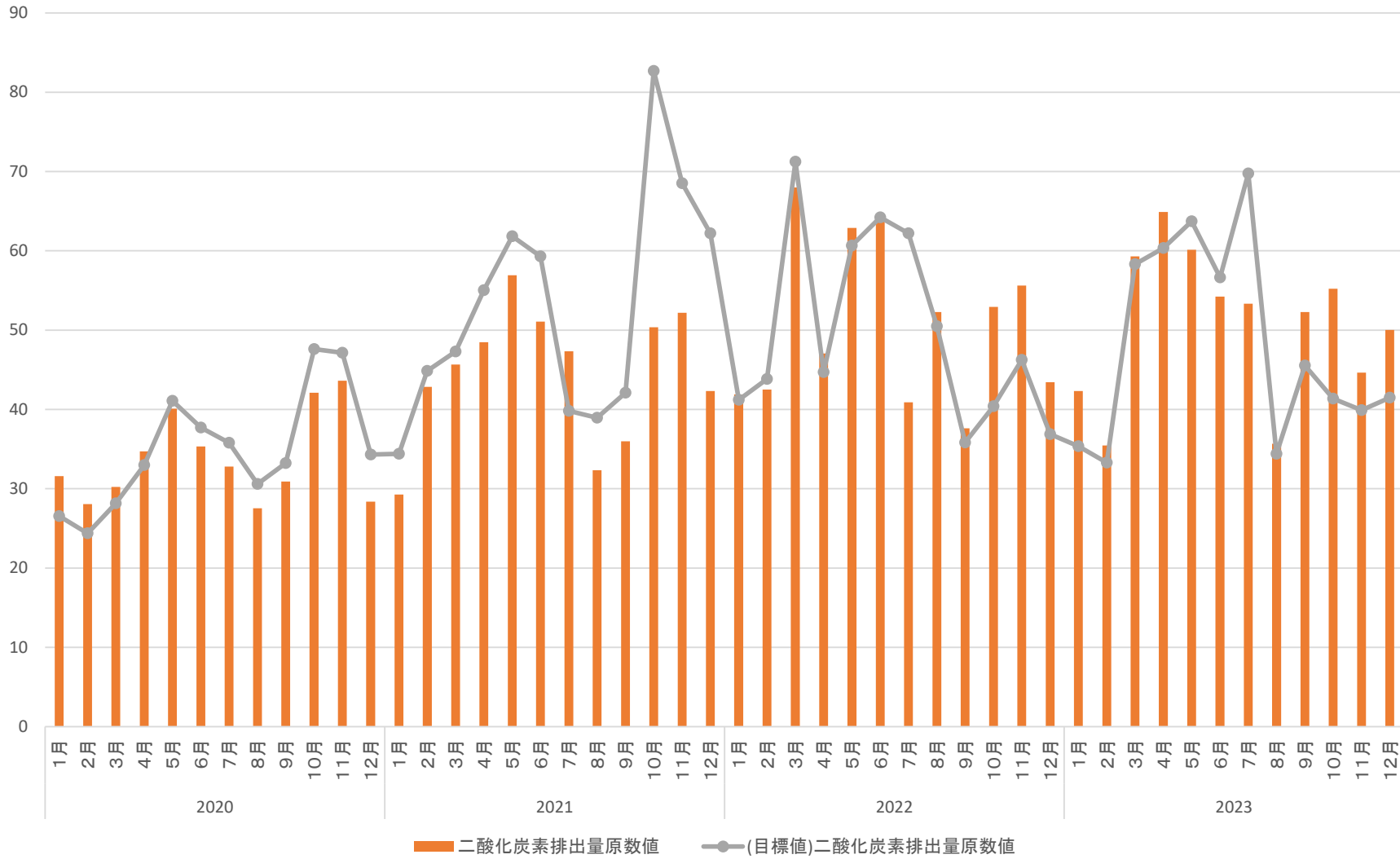
2024年度 電力使用量(kWh)



2024年度 二酸化炭素排出量売上高原単位(kg-CO₂/百万円)



売上(100万円)におけるCO2 排出量



6. 環境活動の実績

取組事項		2024年度目標値	2024年度実績	達成率	評価	
[1]	二酸化炭素排出量の削減	368,210kg-CO ₂	415,950kg-CO ₂	88.5%	×	
内 訳	①電気使用量の削減	644,964kWh ¥14,197,376	754,802kWh ¥20,800,314	85.4%	×	
	②自動車燃料の 二酸化炭素排出 量の削減	1) ガソリン	14,237L ¥2,500,219	16,788L ¥3,263,555	84.8%	×
		2) 軽油	21,973L ¥2,120,760	21,551L ¥3,215,582	102.0%	○
〔2〕	①一般廃棄物量	適正管理	適正管理		○	
	②産業廃棄物の削減	202,439kg 全体	103,105kg	196.3%	○	
[3]	水使用量の削減	年間水資源 総使用 量	1,026L ¥171,131	1,275L ¥364,143	80.4%	×
[4]	環境配慮製品の提供	鉛フリー素材の使用とPR	鉛フリー製品が前年より約2割増えた		○	
[5]	地域での環境活動への積極的参加	実施する	実施出来た		○	
[6]	環境に配慮した施工	①現場で発生したゴミ・ 残材はバケツ等正しく 廃棄する。 ②騒音に配慮した施工の 徹底⇒ポータブル充電機 ③工事残材が出にくい施 工方法の選択 ④工事残材の有効活用 の実施	出来た		○	
[7]	加工・組立から現地据付まで一貫して 請け負える体制を維持する。	①100%イノウエプラス チックからの受注を請け 負う協力会社の新規開拓 により、自前で一環して 請け負える体制を強化す る。	出来た		○	

当社事業年度は、1月～12月

凡例) ○達成(100%以上)、△やや未達成(95%～100%未満)、×未達成(95%未満)

- 1) 電力の二酸化炭素排出係数は、*関西電力(株)公表の2021年度値0.362kg-CO₂/kWhを使用した。
*リコージャパン(株)公表の2021年度実績の実排出係数0.484kg-CO₂/kWhを使用した。

7. 取組結果の評価と今後の取組内容

項目	取組内容	実施状況 ○△×	評価(○△×)と今後の取組内容	
二酸化炭素排出量	冷暖房の温度管理	○	結果:達成 / 評価:×	
	照明、設備、OA機器、家電機器の不使用時電源OFFの実施	○	・電力17%増…目標より17%多かったためCO ₂ 排出も増加した。	
	工場のNC工作機械の定期的メンテ	○		
	エアコンフィルター清掃(夏・冬)	○	・ガソリン…目標に対し18%増。中・長距離顧客が増え、自社便を多用した為。	
	コンプレッサー週時点検	○		
	エコドライブの実施	○	今後:電力量、化石燃料、削減に努める。	
廃棄物排出量	一般廃棄物量(4.8トン未満契約内)	○	結果:達成 / 評価:○	
	産業廃棄物	分別実施	○	・産廃量43%減(目標比)…プラリサイクルとして有価で取引できる量を増やした。
		全体削減	○	
	再生率の向上	○	今後:樹脂廃材を産廃で出さず、リサイクル化を進める。⇒継続する。	
節水	水使用量	手洗い時節水励行	○	結果:未達 / 評価:×
		水道配管漏水点検	○	タンクの水張り検査数が大幅に増えた為。漏水の疑いを水道局より指摘され、点検した。⇒特に異常なしの回答を得た。
		使用量削減	×	
配慮	環境配慮製品の提供	○	結果:未達 / 評価:○	
			メタフリー、鉛フリー製品の受注増	
貢献	会社周辺の清掃を定期的を実施	○	結果:実施 / 評価:◎	
	被災地復興協力支援	-	今後:大規模な清掃は3期に分けて行う。被災地には都度出向く。	
施工	環境に配慮した施工	○	結果:実施 / 評価:○	
	加工・組立から現地据付まで一貫して請け負える体制を維持する。	○	結果:実施 / 評価:○	
環境経営方針の周知徹底	環境活動社内掲示板の設置	○	結果:実施 / 評価:○	
	(環境活動社内掲示板の見える化)		活動を掲示板にて報告。	

(○…達成 △…やや未達成 ×…未達成(○達成:100%以上))

8. 環境関連法規の違反、訴訟等の有無

1. 違反、訴訟の有無

当社において、環境関連法の遵守状況をチェックした結果、環境関連法規の違反はありません。ただ、一部設備において、騒音・振動規制法上の基準レベルを少し上回っているところがあり、現在対策を講じております。また、各関係機関からの違反、訴訟の指摘、外部からの訴訟及び苦情等も過去5年間ありません。

・環境関連法規等の遵法状況

適用される法規	遵守すべき事項	遵守・評価
廃棄物処理法	・ 一般廃棄物、産業廃棄物（廃プラ・廃油・水銀使用製品等）の適正処理、再利用などによる減量、適正処理方法の情報提供 ・ 廃棄物の収集、処理委託基準の遵守 ・ 産業廃棄物の年間集計と知事報告	遵守
騒音規制法	・ 特定施設（空圧機、真空ポンプ、自動カナナ盤、天井走行クレーン）設置の届出 ・ 騒音規制基準の遵守 第3種区域 昼間65dB、朝夕60dB	騒音対策中 （コンプレッサ・真空ポンプの新規購入）
振動規制法	・ 特定施設（空圧機、真空ポンプ、自動カナナ盤、天井走行クレーン）設置の届出 ・ 振動規制基準の遵守 第2種区域 昼間75dB、夜間70dB	遵守
消防法	・ 消防設備（消火器及び消火栓）の定期点検 ・ 火災報知器の設置 ・ 指定可燃物の適正保管（合成樹脂類）	遵守
フロン排出抑制法	・ 業務用空調機のフロンの適正処理 ・ フロン類使用機器（業務用空調機）の定期点検と記録、漏洩防止	遵守
自動車NOx・PM法	・ ディーゼル車（トラック）排気ガス規制の遵守	遵守
自動車リサイクル法	・ 営業乗用車、トラック等廃棄時の適正処理	廃棄実績なし
家電リサイクル法	・ 廃家電製品の適正処理	廃棄実績なし

9. 環境コミュニケーション結果

2024年1月から12月までの間、環境上の苦情および要請はありませんでした。

10. 環境上の緊急事態の試行・及び訓練の結果（2023年）

緊急事態対応訓練記録

- (1) 実施日・・・2024年9月1日
- (2) 参加者・・・全社員（出張社員を除く）
- (3) 実施内容・・・本社工場・第二工場・第三工場にわかれて台風被害を想定し、手順書を再確認と土のうの準備をした。
消火器の位置確認・避難経路の確認を行った。
- (4) 問題点・再発防止策・・・無し
- (5) 手順書の見直しの必要・・・無し

11. 代表者による全体の評価と見直し・指示

(1) 総括

株式会社イノウエプラスチックでは半導体装置部品の樹脂加工という高度な精度と品質が求められる製造現場において、2024年度も引き続き環境負荷低減と生産性の両立を目指した取組を推進してきました。

2024年には、加工工程における材料ロスの削減とエネルギー効率の改善に取り組み、省エネルギー機器の導入や設備稼働の最適化を図って来ました。また、端材リサイクルの推進により、廃棄物の総量も削減されました。

一方で半導体業界を取り巻く環境は依然として不透明で急速な技術進化と高品質・短納期への対応が求められる状況が続いています。こうした背景の申、当社は引き続き「環境にやさしいものづくり」と「高効率な生産体制」の両立を追求していく必要があります。

今後はこれまでのエコアクション21活動をさらに発展させ、現場レベルでの改善提案の活性化や、省人化・自動化による生産性向上にも力を入れていきます。引き続き“できることから始める”を合言葉に、着実に改善を積み重ね、持続可能な企業経営を目指してまいります。

◎重点取り組み方針(着手しやすい内容)

1. 小さなムダを減らす改善活動の定着

- ・切断時の材料ロス(不良品)を記録し、削減できそうなポイントを現場で話し合う。
- ・「なぜこのロスが出たのか？」を都度、メモを残し振り返る仕組みを作る。

2. 電気使用量の「見える化」

- ・待機電力の削減(帰宅時タイマー設定の徹底)。
- ・節電にまつわる活動を「社内掲示」して、少しずつ減らしていく動機づけを行う。

3. 素材選定・仕入れ時の工夫

- ・使用頻度と在庫を見直し、余剰在庫を削減。
- ・場合によっては、先方の設計への材料選定基準の提案、一部採用の検討を促す。

4. 整理整頓・清掃を環境活動にリンク

- ・工場内の清掃・片付け活動を「環境改善」の一環として位置づけ。
- ・端材・廃棄プラの保管場所を整理し、分別しやすい配置や表示の工夫を行う。

5. 社員の気づきを活かす仕組みづくり

- ・簡単な「改善提案ノート」を設置し、現場からの気づきを共有。
- ・小さな改善でも**活動掲示板で紹介**するようにする。

(2) 見直し結果

環境経営方針:

見直しの必要有(実現可能性を重視して改定)

環境経営目標・環境経営計画:

見直しの必要有(業界全体の変化、潮流を見ながら再構成)

実施体制:

見直しの必要無



2025年2月26日
株式会社イノウエプラスチック
代表取締役社長 里井 雅典

12. 関連写真

本社



事務所



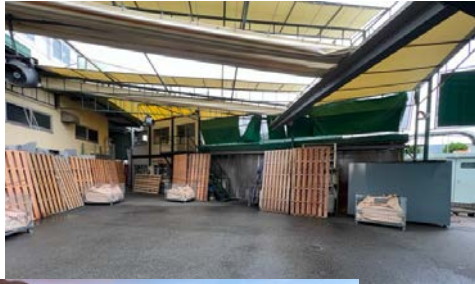
12. 関連写真



金田組視察

雨水

12-3関連写真



暴風対策



12-4関連写真

